2026年度　第２回東三河ビジョン協議会　開催概要



【開催概要】

◆日時：2026年11月19日(木曜日)
　　午前10時～正午

◆場所：東三河総合庁舎　２階 大会議室

◆議題：(1) 東三河振興ビジョン２０３０中間見直しの中間とりまとめ(案)について

(2) 次期「重点プロジェクト」について

【結果概要】

東三河振興ビジョン２０３０中間見直しの中間とりまとめ(案)について、第１回の協議会（７月 22 日（水）開催）で了承された、東三河振興ビジョン２０３０の中間見直しとして策定する「東三河振興ビジョン２０３０　後半の取組」の中間とりまとめ案について、了承されました。

次期「重点プロジェクト」について、新たなプロジェクトを設定せず、2026年度重点プロジェクトの地域課題に「地域産業の振興」を追加して対応することが了承されました。

＜委員からの主な意見＞

○東三河振興ビジョン２０３０中間見直しの中間とりまとめ(案)について

・従前より多くの外国人が住んでいる。人口減少が進み人手不足が問題となる中、外国人住民の活躍に向けた環境整備の推進に引き続き取り組んでいただきたい。

・ウェルビーイングはかなり広い概念を持っている。健康分野のみに捉われず、2030 年以降の次期ビジョンを見据えていくことが必要である。

・人口減少など様々な問題がある中、１つの自治体だけで課題を解決するのは難しい。自治体の枠を超えた形で、時代に即した施策を考えることが重要である。

・他地域に負けないようにするためには、東三河ビジョン協議会構成団体を始め様々な団体が連携・協働し、スピード感を持って取組を実施することが重要である。
・二地域居住や週末移住など、すぐに移住につながらなくても様々な形で地域に関わる人が見込めると考えている。地域が一体となって取り組んでいくことで相乗効果が出てくると考える。

〇次期「重点プロジェクト」について
・観光は重要だが、ウェルビーイングの観点からは教育も同様に重要である。2026 年度重点プロジェクトの「人材育成」の視点をより強調していく必要がある。

2026 年度　第２回　東三河ビジョン協議会　次第

日時　2026 年 11 月 19 日（木）
　　10 時～
場所　東三河県庁（東三河総合庁舎）
　　２階　大会議室

１　あいさつ

２　議題

（１）東三河振興ビジョン２０３０中間見直しの中間とりまとめ（案）について

（２）次期「重点プロジェクト」について

（配付資料）

資料１　　東三河振興ビジョン２０３０後半の取組　概要（案）
資料２　　東三河振興ビジョン２０３０後半の取組　主要な取組（案）
資料３　　東三河振興ビジョン２０３０後半の取組　進捗管理指標（案）
資料４　　次期重点プロジェクトについて（案）

東三河ビジョン協議会　委員等名簿

【委　員】

区　分	所属・職	氏　名	備　考
市町村	豊橋市長	長坂　尚登	
	豊川市長	竹本　幸夫	
	蒲郡市長	鈴木　寿明	代理 企画部長　牧原英治
	新城市長	下江　洋行	
	田原市長	山下　政良	代理 企画部長　大羽浩和
	設楽町長	土屋　　浩	代理 副町長　久保田美智雄
	東栄町長	村上　孝治	代理 副町長　伊藤克明
	豊根村長	伊藤　浩亘	代理 副村長　村松和重
広域連合	東三河広域連合長	長坂　尚登	―
民間 組織等	東三河広域経済連合会会長（豊橋商工会議所会頭）	神野　吾郎	
	豊川防災ボランティアコーディネーターの会会長	河合　美恵子	
	豊橋農業協同組合代表理事組合長	西郷　和久	
	(一社)ほの国東三河観光ビューロー会長	佐藤　元英	
	愛知大学地域政策学部教授	戸田　敏行	
	(一社)奥三河ビジョンフォーラム理事長	夏目　　工	
	愛知大学理事長・学長	広瀬　裕樹	欠席
	国立大学法人豊橋技術科学大学学長	若原　昭浩	
愛知県	副知事	川原　　馨	座長
	東三河総局長	松﨑　健吾	
	東三河総局新城設楽振興事務所長	長谷川　勝春	

（敬称略）

【オブザーバー】

所属・職	氏　名	備　考
愛知県議会議員	峰野　　修	欠席
	山本　浩史	欠席
	藤原　ひろき	欠席
	丹羽　洋章	欠席
	杉浦　正和	欠席
	中村　竜彦	欠席
	浦野　隼次	欠席
	大久保　真一	欠席
	下奥　奈歩	欠席
	喚田　孝博	欠席

（敬称略）